

田舎留学プロジェクト

2026年10月1日発行 vol.29

田舎留学プロジェクト 運営局／南伊豆町 企画課

「つながる田舎留学」を実施しました！

9月10日から16日までの7日間、「つながる田舎留学」を実施しました。今回で3回目の開催となる本事業では、現役の大学生に加え、これまで「田舎留学」に参加した社会人も南伊豆町を訪れ、合計44名で活動しました。学生が南伊豆町に滞在しながら、ボランティア活動や小中学校での授業、町の行事、地域イベントへの参加や、子どもたちや地域の方々との交流企画などを通じて、南伊豆の魅力をもっと知り、地域の皆さまと交流する7日間となりました。参加する学生の人数だけでなく、関わる事業者や地域の方々、活動内容也多岐にわたり、充実した7日間となりました。

今回も「つながる田舎留学」の開催にあたり、多大なるご協力をいただきました南伊豆町役場の皆さま、ボランティア受け入れ先の事業者の皆さま、各教育機関、そして町内外問わずさまざまな形で活動を応援してくださった皆さまに、心より御礼申し上げます。

また、田舎留学プロジェクトの活動の一環として進めている、空き家を活用した活動拠点「ここいな」では、学生の滞在拠点としたり、イベントを実施したりしました。そばを活用した6次産業化プロジェクトでは、学生が地域の方々とともにそば栽培に取り組みました。いずれの取り組みも、今回の田舎留学を通して良いスタートを切ることができました。ここからがいよいよ正念場です。今後とも南伊豆のため努力を重ねてまいりますので、今後とも応援をよろしくお願いいたします。



今号を担当したメンバーのひとりごと

今号の編集を担当いたしました、広報班3年の堀尾美月です。昨年の「つながる田舎留学」からライトメンバーとして参加して、今回で3度目の参加となりました。フィールドワークやプライベートでの来町も含めると、今回で7回目の南伊豆訪問になります。これだけ南伊豆を訪れていても、大人数でまとまった期間滞在すると、やはり充実度は格段に違いました。回数を重ねるほど、南伊豆の見え方も少しずつ変わっていきます。3度目となった今回は関わった方々とじっくり話し、それぞれの考え方を交換することを意識しました。おかげで人との関係性を一番深められたと思える有意義な7日間であったと感じています。「南伊豆の好きなところは？」と聞かれたら勿論いくつもあるけれど、一番は自分を見つめ直したり毎度新しい考え方を得られるところかもしれません。皆さんの「南伊豆の一番好きなところ」はなんですか？いつか是非教えていただきたいです！

田舎留学プロジェクトとは？

南伊豆町民と首都圏の大学生が、町民の事業のお手伝いや町内学校での活動を通し、助け合う関係性を形成する、南伊豆町×首都圏の学生による共同プロジェクト。

住まずとも町の一員となる「関係人口」を増やし、町の未来の担い手を確保することを目標に、活動しています。

25年9月18日～24日には「つながる田舎留学」を実施。

東京の大学生が1週間にわたって南伊豆町にて活動しました。

[南伊豆町役場 企画課 企画係]

静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1

Tel.0558-62-6288

[田舎留学プロジェクト 運営局]

Mail: inakaryuugaku@gmail.com

Instagram: @inakaryuugaku

X (Twitter): @inakaryuugaku

Web: <https://inakaryuugaku.com/>